



令和2年6月

## 桃山中学校ハッピー桃太郎だより

～誇りのもてる学校をめざして～

### 『<sup>ざい きんしやう か</sup>在今咲花』

校長 寺本 実春

紫陽花が見頃を迎える季節となりました。新入生も在校生もそれぞれに、多くの夢や目標をもって臨んだ新年度だったはずなのですが、途中で再び休校の措置がとられ、私たち教職員も子どもたちのいない静かな学校で、寂しい日々を過ごしていました。しかし、ようやく5月25日から学校が再開され、6月1日からは通常授業となりました。休校が長引き、子どもたちの心身の健康や学習状態を心配していましたが、3年生をはじめ、1・2年生も落ち着いて授業に取り組んでいる様子を見て、安心しているところです。こうして、1学期が再スタートしたわけですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の対策に、これまで以上に一人ひとりがきちんと取り組んでいくことが必要です。今は、互いにかかわり合う学習形態や教育活動は難しい面がありますが、子どもたちには一つでも多くのことを経験させてあげたいと考え、私たちもいろいろと知恵を出し合いながら、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。

さて、これまで当たり前だと思っていた日常が戻ってくる、そんなゴールがなかなか見えない中、<sup>ざい きんしやう か</sup> どういう気持ちで過ごしていけばよいのかを考えた時、『<sup>ざい きんしやう か</sup>在今咲花』という言葉思い出しました。この意味は、『今、在るところで花を咲かす』ということです。この度のように、“自分の力だけではどうにもならないこと”、“こんなはずではなかったと悔しい思いをすること”が、これから先の人生においてもあるかもしれません。しかし、どんな状況でも「咲く」努力をしてほしいと思っています。我慢は、納得できない不満をもったまま、自分の気持ちを抑えることです。だから、限界が来ればキレたり、体調を崩したりしてしまいます。辛抱は、同じく納得できないことや理不尽なことに耐えることです。これは実現させたいことに対しての努力を伴う辛さです。今、自分の置かれた状況に不平不満をもっているだけでは何も変わりません。現実を受け止め、辛抱しながら、どう行動するのが大切なのです。大変な時ですが、できることを笑顔で前向きに、そして精一杯に。今ここで、自分に咲かせることのできる花がきっとあるはず。桃山中みんなで、一致団結して頑張っていきましょう！

### ～今後の学校行事、授業について～

今後の学校行事については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、県・市教育委員会の指示の基、生徒の健康安全、学習・学力の保障（休校中の授業時間の補填・確保）を中心に考えていきたいと思っています。それに伴い、運動会等行事の変更、実施方法について検討していくことになりますので、ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。